

令和7年12月小谷村議会定例会  
一 般 質 問 要 旨

令和7年12月8日（月）午前10時開議

- ① 3番 柴田 友造 議員
  - (1) 農林業政策の取り組みについて
  - (2) 新年度予算編成について
- ② 5番 相澤 稔 議員
  - (1) 月岡雨中バイパス開通後の課題について
- ③ 1番 横澤 匠 議員
  - (1) 地域課題の解決に向けた観光振興について
- ④ 7番 吉岡 久人 議員
  - (1) クマ出没の対応について
  - (2) 平成7年豪雨災害から30年経過して
- ⑤ 8番 吉澤 学 議員
  - (1) 物価高対策について
  - (2) 観光地活性化について
  - (3) 大糸線存続について
  - (4) 村道の草刈りについて
  - (5) 沓掛古民家の運営について
- ⑥ 6番 深澤 英喜 議員
  - (1) 副村長就任に伴う村政運営の方針について
  - (2) 観光地トイレの整備方針について
- ⑦ 9番 曾根原恵子 議員
  - (1) 時代に適応した観光地域づくりを
  - (2) 長野県宿泊税がどう活かされるのか
  - (3) 高齢者福祉を守り安心の暮らしを
- ⑧ 4番 清水 秀雄 議員
  - (1) 有害駆除について
  - (2) 「小谷村民間賃貸住宅建築補助」について

令和7年11月21日

小谷村議会議長 宮澤 正廣 様

小谷村議会議員 3番 柴田友造

### 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり一般質問の通告をします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1 農林業施策の取 り組みについて	農林業関連施策について、現在、重点的に実施している事業と今後の展開について伺う。  ①農業関係 ②林業関係（特用林産物含む） ③畜産業関係 ④特産品関係 ⑤ふるさと納税返礼品	村長 関係課長
2 新年度予算編成 について	新年度において、現段階で村長の考える重点事業、また実施すべき事業は何か。	村長

令和 7 年 11 月 21 日

小谷村議会議長 宮澤 正廣 様

小谷村議会議員 5 番 相澤 稔

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり一般質問の通告をします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 雨中月岡バイパス開通後の課題について	<p>地元地域にとっては待望の、また小谷村にとっても松糸道路整備に大いに弾みがつくバイパスが完成した。完成後まだ日も浅いが、地域の日常生活が大きく様変わりした。静かで安全になったばかりでなく、時間の流れがゆっくり落ち着いた気がする。その一方で今後の課題も見えてきた。</p> <p>そこで以下の各項について村の構想、方針、対応など伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 旧道の維持管理</li><li>2. JR南小谷駅周辺の整備計画</li><li>3. 地域の振興、活性化に対するフォロー（支援）</li><li>4. JR南小谷駅南のバイパス合流箇所安全対策</li></ol>	村長 関係課長

令和 7 年11月 21日

小谷村議会議長 宮澤 正廣 様

小谷村議会議員 1 番 横澤 匠

### 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり一般質問の通告をします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 の 相 手
1 地域課題の解決に向けた観光振興について	<p>人口減少や高齢化、働き手不足は地域経済の衰退へも影響がでています。これらは地域の利便性も損なわれている状況です。</p> <p>観光産業を上向けることで地域課題も解決され、経済も循環していくことに期待できると思います。</p> <p>小谷村は常々、観光業を村の基幹産業と宣言していますが、時代の流れにのって、新化・改革そしてチャレンジする取り組みをしていくことが観光政策に重要かつ必要であります。そこで以下について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 通年観光を促進していくための現状の課題と今後の方針は。</li><li>2 観光産業の活性化対策について新たな取り組みなどの考えは。</li><li>3 観光における情報発信について、現在の取り組み状況は。</li><li>4 観光客に対する観光インフラ(案内表示)、二次交通、キャッシュレス化に対する現状と課題は。</li></ol>	村長 副村長 関係課長

令和 7年 11月 21日

小谷村議会議長 宮沢 正廣 様

小谷村議会議員 7番 吉岡 久人

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり一般質問の通告をします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 の 相 手
1. クマ出没の対応 について	<p>全国的にクマの人的被害と異常な出没の状況が問題となっている。ドングリなどの不作も原因とのことである。そこで小谷村でも毎日のように出没情報があるクマの対策について、次の項目を伺う。</p> <p>① 当村の現在までのクマ駆除数は。(春クマ 猟除く)</p> <p>② 村内の猟友会が3支部あるが、各支部の会員数と平均年齢は。</p> <p>③ 村で所有する檻、わなの数量及び本年、もっとも利用した時期の設置数は。</p> <p>④ 猟友会員の育成に向けた対策は。</p> <p>⑤ 緊急銃猟に関する注意点など小谷村の対応は。</p>	村長 関係課長
2. 平成7年豪雨災 害から30年経過し て	<p>災害の教訓を活かして、今後の災害時の対応等について次の項目を伺う。</p> <p>① 7月開催のシンポジウムの参加状況、内容の評価は。</p> <p>② 緊急災害時を想定し、職員の教育・研修を実施状況と重点的な指導内容は。</p> <p>③ 9月開催の総合防災訓練での村民の参加状況とその訓練内容の評価は。</p> <p>④ 災害時の避難所開設において、防災マニュアルにおいて指定している担当職員が不在の場合の対応は。</p>	村長 関係課長

令和7年11月21日

小谷村議会議長

宮澤正廣様

小谷村議会議員8番

吉澤学

## 一般質問通告書

次のとおり一般質問の通告をします。

1. 物価高対策について	<p>① 物価高で、村民の生活費負担が増えている状況であるが、物価高騰の対策について村はどう考えているか。</p> <p>② 本年度の主要事業であった移住促進住宅が建設できていない状況について、資材高騰が1つ理由であると説明されたが、今後資材高騰対策も踏まえどう進めるかを伺う。</p>	村長 関係課長
2. 観光地活性化について	冬期の利用が多いスキー場エリアでの道路整備の必要性について、村の考えを伺う。	村長 副村長
3. 大糸線存続について	<p>松本市以北の市町村で構成する大糸線利用促進輸送強化期成同盟会、また、大町市から糸魚川市、JRなどで構成する大糸線活性化協議会、そして村でも独自の会がありそれぞれ大糸線の利用促進を目的に様々な活動しているところだが、</p> <p>① 11月1日の新聞では、同盟会では、2026年度中に何らかの結論を出すとの報道について、どのような協議をしていく方向であるのか。</p> <p>② バス転換や廃線など憶測の声も聞こえてくる状況であるが、この大糸線の問題について村長自身の考えを伺う。</p>	村長 関係課長

4. 村道の草刈りについて	生活路線の村道の草刈りは地域で実施している。しかし住民が減少し従前より負担が増加している地域が多くある。負担軽減のため、効率的な草刈り作業に向けて改善すべきことも必要と思うが、作業機械など効率的な対策は考えていないか。	村 長 関係課長
5. 沓掛古民家の運営について	沓掛古民家飲食店が、この9月末で、指定管理者不在となったが、今後、この施設の運営について伺う。	村 長 関係課長

令和 7年 11月 21日

小谷村議会議長 宮澤 正廣 様

小谷村議会議員 6番 深澤 英喜

### 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり一般質問の通告をします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 相 手
1、副村長の就任に伴う村政運営の方針について	<p>本年5月、竹内副村長が就任され半年経過しました。県行政において長年培われてきた経験や知識を、今後どのように本村の行政運営に活かしていけるものと期待するところです。そこで、前副村長との引継ぎ内容を含め、新たな視点から、どのような姿勢で村政に向き合われるのかについてお考えをお聞かせください</p> <p>① 副村長の基本姿勢について 村で現在進められている各事業や、各課が取り組む施策について、副村長としての事業評価や今後の方針について伺う。(事業を抜粋して)</p> <p>② 庁内マネジメントと職員体制について 副村長は村長を補佐し、庁内全体をまとめる要であり、組織の形態や職員との意思疎通や士気向上を促進し、効率的な行政執行に向け、活動していく立場です。そこで、今後の目指す方針や挑む姿勢を伺う。</p> <p>③ 庁内での村民対応について 前副村長からは「庁内における職員と議員との関わり方、特に「カウンター越しの対応」について指摘した。これまでの経過も含め、庁内での議員や村民対応についてどのように捉えているか。</p>	副村長

<p>2、観光地トイレの整備方針について</p>	<p>③ 地域との協働と信頼関係の構築について          村外からの就任という立場を踏まえ、地域住民との信頼関係の構築や、村民と行政が協働して進めるむらづくりに対して、今後どのように取り組まれるのか伺う。</p> <p>④ 県道千国北城線の整備計画について          村内では雨中月岡バイパスが開通し、今後月岡橋の架け替え工事も継続して行われる計画とのこと。大町建設事務所での職務経験から、就任にあたり県道千国北城線に関する提案を持参し、各会議等で計画について説明をしているが、県道千国北城線の整備計画について、次の項目を伺う。          ア、道路整備の議論があった時と現在の計画では、目的など変更があったか。          イ、現在提示しているルート案の内容は。          ウ、実現に向けて必要とされる課題は。          エ、小谷村としての実現に向けての関わり方は、それに必要な想定経費は。</p> <p>これまでも観光地のトイレ問題について数回にわたり質問し、時代に合った衛生的で利用しやすいトイレ整備を意見してきました。近年では山小屋でも快適なトイレ環境を提供しており、観光地として欠かせない設備であり、その重要性は増していると考えます。そこで、今後の公共的なトイレ整備に向けた考え方、ならびに事業に取り組む姿勢について見解を伺います。</p> <p>① 白馬大池駅のトイレ事情について          大糸線の西日本側のあり方検討、白馬-南小谷間の特急「あずさ」運行停止など、鉄道に関する議論が進む中で、駅のトイレ環境は依然として課題が多いと感じている。白馬大池駅のトイレも観光客が利用する上で重要と考えるが、対応をどう考えているか。</p>	<p>村長          関係課長</p>
--------------------------	--	-----------------------------

	<p>② 梶池中央駐車場トイレの改修補助について 梶池中央駐車場のトイレについて、改修工事に関する補助要望が提出されていたと承知しているが、その後の対応状況はどうなっているのか。</p> <p>③ 梶池第2駐車場の無管理トイレについて 梶池第2駐車場に付帯するトイレは管理者不在との状況である。この状況は衛生面、利用者の安全面から課題があると考えますが、村としてこのトイレをどのように認識し、どのように対応していく考えか。</p> <p>④ 自然園入口トイレの全面改修について 自然園ビジターセンター横のトイレは老朽化が進んでおり、全面的な改修が必要であると意見がでてい る。村として現トイレの評価と今後の計画は。</p> <p>⑤ 楠川トイレ新築事業中止後の対応状況について 楠川トイレについては事業中止から6年ほど経過しているが、その後の新築に対する計画や調査について、現在までの検討状況および今後の予定は。</p>	
--	--	--

令和 7年 11月 21日

小谷村議会議長 宮沢 正廣 様

小谷村議会議員 9番 曾根原 恵子

一般質問通告書

次のとおり一般質問の通告をします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 時代に適応した観光地域づくりを	<p>少子高齢化の時代を迎え、行政運営は、拡大志向の考え方から、小さくとも魅力ある個性豊かな村を目指す手法が求められています。行政の持つ情報を村民に公開して共有することで地域づくりが進みます。</p> <p>現在、外国人旅行者の急増による経済効果が期待されている一方で、リゾート開発の進展によって、住民の住み心地の悪化が懸念されています。観光地発展を目指す将来像と、過剰な開発行為をどのように調整すべきかを問われています。そこで次について伺います。</p> <p>① 開発行為に対する、開発審議会や専門部会の設置状況は。</p> <p>② 建物の建ぺい率や制限、道路境界との規制は。また雪捨て場確保について、どのような指導、また制限があるのか。</p> <p>③ 地価高騰の問題が指摘されている現在、土地の転売を禁止する制限など、村の明確な指導基準はあるのか。</p> <p>④ 開発行為において、近隣住民からの同意が必要であるが、小谷村の開発に係る条例等の規定では住民同意項目が含まれているか。</p> <p>⑤ 今春、白馬村ほか4町村で警察庁と観光庁へ共同要望した「観光対策」について、具体的な要望内容とその後の成果は。</p> <p>⑥ 村内の観光地エリアでは、宿泊業を廃業・施設を売却し転出していく状況が増加しているが、村としてこの事態をどう考えているか。</p>	村長 関係課長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
2 長野県宿泊税がどう活かされるのか	<p>長野県は、宿泊税の導入にあたり対象宿泊施設等に対して宿泊税特別徴収義務者登録申請の手続き案内が送付されています。戸惑う事業者が多く存在すると思います。そこで以下について伺います。</p> <p>① 長野県からの説明だけでなく、村としても登録申請対象者に対して説明会を実施し、丁寧な対応をするべきでないか。</p> <p>② 徴収した宿泊税の用途について、長野県の指針と村へ交付される場合の用途は。また、用途についてどう説明していく予定か。</p>	<p>村長 関係課長</p>
3 高齢者福祉を守り安心の暮らしを	<p>平成9年に開設された老人保健施設「虹の家」は北アルプス広域連合にて運営をしている施設です。この施設は、要介護認定を受けた高齢者が、自宅への復帰を目指してリハビリや医療ケアを集中的に受けることで、地域住民の安心のよりどころでもあります。ところが、「経営難のため虹の家廃止」との報道があり、以後、住民から不安の声が届いています。</p> <p>この報道は、医療・介護消失の危機とも捉え、大北地域全体の課題となっています。広域連合での課題ではありますが、この件について、小谷村長としての見解を伺う。</p>	<p>村長</p>

令和 7年 11月 21日

小谷村議会議長 宮沢 正廣 様

小谷村議会議員 4番 清水 秀雄

### 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり一般質問の通告をします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 の 相 手
1. 有害駆除について	<p>本年の熊の目撃情報は115件で前年の約2倍であります。駆除頭数については51頭、前年駆除9頭に対して5.6倍です。令和5年の駆除数も35頭、近年の温暖化によるドングリ・ブナの実等の不作によるものであることが推測されます。</p> <p>私も猟友会員の一人として村長より小谷村鳥獣被害実施隊員を命じられて捕獲・処理の対応を行っております。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>① 捕獲駆除後の埋設場所が不足している状況であるが、埋設箇所の確保について村としての対応は。</p> <p>② 鳥獣対策に関する出役報酬について、罾の見回り活動・檻設置、処理作業の報酬単価と駆除作業とは異なる単価で支払われているが、同一単価にすべき声もある。見回りや檻設置なども出役者の自家用車を使用した活動であり、燃料費高騰の実情を踏まえて単価改正の考えはないか。</p> <p>③ ガバメントハンターの設置について村長の意見、見解を伺いたい。</p>	村長 関係課長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
2.「小谷村民間賃貸住宅建築補助金」について	本年度の主要事業として予算措置されたアパートなどの賃貸住宅の建築に対して、現在の進捗状況を伺う。	村長 関係課長